

伊那圏域 大規模氾濫減災協議会 議事概要

開催日時：平成 30 年 2 月 26 日(月) 10:00～11:30

開催場所：伊那合同庁舎 5 階 講堂

<議事次第>

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - 1) 伊那圏域大規模氾濫減災協議会の設立について・・・(資料－1～4)
 - 2) 本協議会規約(案)について・・・(資料－5)
 - 3) 取組方針(案)について・・・(資料－6)
 - 4) 今後の予定について・・・(資料－7)
- 4 各機関からの情報提供
 - 1) 長野地方気象台
 - ・ 水害に係る気象情報について・・・(資料－8)
- 5 閉会

<要旨>

○議事

- (1) 伊那圏域大規模氾濫減災協議会の設立について(長野県建設部河川課より説明)
 - ▶ 協議会設立の背景、当面のスケジュール、今後実施する事項等について、資料－1, 2により説明
 - ▶ 危機管理型水位計の設置の方針等について、資料－3により説明
 - ▶ 想定最大規模降雨の浸水想定区域図の作成等について、資料－4により説明
 - 質問・意見なし
- (2) 本協議会規約(案)について
 - ▶ 資料－5に基づき事務局より説明
 - ▶ 質疑について、後述のとおり
 - 承認
- (3) 取組方針(案)について
 - ▶ 資料－6に基づき事務局より説明
 - ▶ 質疑について、後述のとおり
 - いただいた意見を踏まえて事務局で修正を加え、後日別途賛同を確認する
- (4) 今後の予定について
 - ▶ 資料－7に基づき事務局より説明
 - ▶ 修正を加えた取組方針(案)と、本日の議事概要を確認いただき、3月中にHPにて公表
 - ▶ 次回協議会について、H30年4月中旬に、天竜川上流水防連絡会との合同開催を調整中

○各機関からの情報提供

- (1) 水害に係る防災気象情報について(長野地方気象台より説明)
 - ▶ 防災気象情報の活用方法等について、資料－8により説明

< 質疑応答の概要 >

- = 説明・意見・質問・要望
- = 回答

【(2) 規約(案)について】

- 地域振興局 ■ 第6条の情報機関とは何を指しているのか。
- 事務局 ➤ 報道機関のこと。

【(3) 取組方針(案)について】

- 駒ヶ根市 ■ 1) P.5 河川の巡視の現状で、「水防団等」とあるが、実際は消防団が行っている。
2) P.8 基盤等の整備で、県と市町村で排水ポンプの準備とあるが、市町村で予算化して配備しなければならないのか。
3) P.9 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成と避難訓練の実施が市町村となっているが、施設が行うものかと思う。
- 事務局 ➤ 1) 本圏域では水防団は組織されていないため、実際に水防活動を行っている「消防団等」に訂正する。
2) 県では、伊那建設事務所では無いが、ポンプ車を所有する近隣事務所との連携を行う。市町村での配備までは想定していない。
3) 指摘のとおり、施設管理者で行うものであるため、その支援との記述に改める。
- 南箕輪村 ■ 1) 伊那建設事務所に水防倉庫はあるのか。
2) 各河川に危険水位等を設定する計画はあるのか。タイムライン作成にもつながる。
3) 浸水想定区域図を見直すとのことだが、市町村でのハザードマップ作成につながるため、予定を早めに示してほしい。
4) 現地に浸水深の表示はしていくのか。南箕輪村では、天竜川に係るものはある。
- 事務局 ➤ 1) 伊那市内の県有地にある。
2) 今後の水位計の追加設置や水位周知河川の指定に向けて、必要な河川には、危険水位等の設定は必要と考えている。
- 河川課 ➤ 2) 県内の洪水予報河川や水位周知河川を増やしていくよう、国からも指導されている。予算の関係もあるが、指定にあたっては水位の設定も行っていく。簡易型水位計は、洪水時のみ観測するため、そこまでの水位設定ができるか、国も含めて検討中。
3) 100年確率の浸水想定区域図は23河川が作成済みであるが、最大規模の浸水想定区域図は、洪水予報河川、水位周知河川を最優先で作成していく。天竜川は作成していくが、当面、他の河川での作成予定は無い。簡易型水位計は、役場や要配慮者施設の近くで水位計が無いなど、必要な箇所は要望を上げてもらいたい。
4) 浸水深の表示までは考えていない。
- 南箕輪村 ■ 4) 県の元気づくり支援金等使えるよう働きかけてほしい。

気象台

- 1)他の圏域にも共通で記載している次の事項を追記していただきたい。
P.4 市町村への情報提供の項目で、現状で流域雨量指数の予測値や洪水警報の危険度分布を情報提供していることと、その課題として分かりやすい情報提供と利用促進。
P.9 タイムライン作成の項目で、避難勧告等の判断への防災気象情報（流域雨量指数の予測値や洪水警報の危険度分布等）の活用方策の検討。取組機関は県、市町村、気象台。
- 2)取組項目でタイムラインの作成には気象台の情報も関係することになるであろうから、取組方針には、県、市町村だけでなく、助言する立場として気象台も加えていただきたい。

事務局

- 追記・修正する。

天竜川上流
河川事務所

- 1)天竜川上流部でも同様の取組方針を設定している。取組項目で関連するものがあれば共に取り組むため、広域連携という意味合いでも、取組機関に国も加えられたい。たとえば水防資機材の配備など。
- 2)課題と取組方針とがリンクしているのか。たとえば P.4 局地的豪雨に対する雨量情報空白区域に対する取組項目が記載されていないなど。

事務局

- 確認・修正する。

消防本部

- 1)タイムラインの作成に当たっては、関係機関の支援を受けながら市町村で行うものかと思うが、作成段階から会議を開催して作成されたい。
- 2)タイムライン作成済みの市町村もあり、「作成」だけでなく「見直し」の記述も加えられたい。

事務局

- 2)追記・修正する。